

**トド英語「多読クエスト」に 2,045 人が参加、  
1 か月の英語絵本読書冊数は平均 79.2 冊に  
～全国の小学生の月間平均読書冊数 7.1 冊と比べて高い読書量に～**



家庭向け英語学習アプリ「トド英語」を提供する Enuma Japan 合同会社（所在地：東京都千代田区、職務執行者：趙南薫）は、今年で3年目となる学習イベント「多読クエスト」を、2026年3月7日～4月5日の30日間にわたり実施いたしました。

本イベントは「トド英語」ユーザーの子どもを対象としており、期間中には2,045人の子どもたちが参加。総読書冊数は161,876冊に到達し、1人あたりの読書冊数は平均79.2冊となり、英語絵本を多読する学習スタイルの広がりがうかがえる結果となりました。

### <「多読クエスト」について>

「多読クエスト」は、3～9歳の子ども向け英語学習アプリ「トド英語」ユーザー限定の学習イベントです。アプリ内に収録された、約500冊の英語絵本を対象に、一定期間内に読んだ冊数に応じて、達成した参加者全員にプレゼントが贈られます。

物語・科学・世界のあいさつなど多彩なジャンルの英語絵本に幅広く触れることで、子どもたちがこれまで読んだことのない本にも出会い、興味や視野を広げることを目的としています。新たなお気に入りの一冊に出会えることや、読書量が達成感や自信につながる点も、このイベントの魅力です。

実施期間：2026年3月7日（土）～4月5日（日）の30日間

### 多読クエストの結果

- 参加者数：2,045人
- 総読書冊数：161,876冊
- 平均読書冊数（一人あたり）：79.2冊
- 100冊以上読んだ子ども：645人（31.5%）
- 200冊以上読んだ子ども：249人（12.2%）
- 最多読書冊数：1,017冊

■ **英語絵本でも多読は成立する。全国の小学生の月間平均読書冊数と比べても高い読書量に** 学研教育総合研究所の調査（※1）によると、全国の小学生の1か月の平均読書冊数は7.1冊（紙の本・まんが・電子書籍の合計）で、全体の約3割が紙の本を一冊も「読まない」と回答しています。一方、「多読クエスト」参加者の平均読書冊数は79.2冊でした。読書対象や条件は異なるものの、トド英語では子どもの英語力に応じたレベル別の英語絵本を多数そろえ、英語でも無理なく読み進められる読書環境を提供しています。今回の結果は、そうした環境のもとで子どもたちの英語多読が成立していることを示すものといえます。

（※1）引用：

<https://www.gakken.jp/kyouikusouken/whitepaper/202310/chapter4/12.html>

### ■ 参加者の3割以上が100冊以上を読了、最大1,000冊読んだ子ども

100冊以上を読了した子どもは645人（31.5%）、200冊以上の読了者も249人（12.2%）を記録。最多読書冊数は1,017冊と、一か月で1,000冊を超える読書を達成するケースも見られました。

### 参加者のコメント

「最初は全く読めなくても、何度も同じ絵本を読ませているうちに時間はかかるけれどスラスラ読めるようになって、とてもビックリする。」（8歳のお子さんの保護者さま）

「多読クエストが始まってからよく読むようになりレベル1から順番に読んでいるお兄ちゃんは上達しているなど感じる。」（7歳のお子さんの保護者さま）

「スラスラと単語を読めるようになってきている。分からない単語はすぐに聞いてくれて、自分でアウトプットできる環境を作っている。多読クエストのおかげでたくさん本を読みたい！とやる気に満ちあふれる」（8歳、6歳のお子さんの保護者さま）

「かなり読めるようになってきていると感じています。保育園でも英語が得意と言われていて、自信になっているようです。」（5歳のお子さんの保護者さま）

### ＜イベント時に限らない、トド英語利用ユーザー（※2）全体の英語読書習慣＞

2026年3月、トド英語利用ユーザー全体の月平均読書冊数は21.6冊となっており、イベント参加の有無にかかわらず、日常的に英語絵本に触れる様子が見えます。

（※2）2026年3月に学習履歴のあるトド英語ユーザー

#### ■トド英語利用ユーザー全体で読了率は86%、「最後まで読む」習慣に

アプリ利用データでは、トド英語利用ユーザー全体の読了率（開かれた英語絵本のうち、最後まで読まれた割合）は86.0%でした。英語でも途中で離脱せず、物語を最後まで読み切る利用傾向が見られました。

#### ■英語絵本で、インプットとアウトプットの両面から学習を支援

「トド英語」では、全6段階のレベル別英語絵本（約500冊）を収録し、子どもの英語力に合わせて無理なく読み進められる学習体験を提供しています。絵を見ながら読む体験と読み上げ音声により、文字・音・意味を結びつけながら物語を楽しめる設計です。さらに、音読コンテンツ「Read Aloud」（24冊）では、AIによる音読評価機能を利用し、英語を声に出して読む機会も提供しています。

#### ■「話す」だけではない、幼児・児童英語学習の新しい広がり

従来の日本の幼児・児童向け英語教育では、英会話や発話練習への関心が高い一方で、近年は絵本や音声を通じて英語に触れる「インプット型学習」も広がりが見られます。

今回の「多読クエスト」の結果からは、英語を「話す」だけでなく、「読む・聞く」体験として家庭に取り入れる学習スタイルが、幼児・児童期の英語学習の選択肢として広がっていることがわかります。

## トド英語について



トド英語は、子どもがゲーム感覚で直感的に学べる、3～9 歳向け英語学習アプリです。ゲームや動画、絵本といった多彩なコンテンツを通じて、英語を自然に身につけられるように設計されています。自宅で学習できるため、無理なく続けることができ、子どもが「わかった」「できた」と感じる学習体験を提供します。

その継続率の高さや学習効果の実感からも、安心して取り組める英語学習ツールとして多くのご家庭に選ばれ、SNS やアプリストアでも高い評価を得ています。

公式サイト：<https://todoschool.com/jp/english>

## Enuma Japan 合同会社について

Enuma Japan 合同会社は、子ども向けの学習アプリ「トドさんすう」「トド英語」を提供する EdTech 企業です。学びの進み方は子ども一人ひとり違うという考えのもと、EdTech の力を活かし、どの子どもも「学ぶことそのもの」に前向きになる学習体験を重視した製品開発に取り組んでいます。

イーロン・マスク氏も支援する教育ソフトウェア開発コンテスト「Global Learning XPRIZE（グローバル・ラーニング X プライス）」で、198 チームの中から優勝に選ばれた実績もあります。Enuma, Inc.（所在地：アメリカ・カリフォルニア州バークレー）の日本法人です。